

就職活動応援特集

■ダクタイル鑄鉄異形管の生産量国内トップクラス
当社は1922年に創業、1941年に鑄造物機械工業として設立し、異形管やバルブの製造を手掛けてきました。異形管とは、まっすぐに伸びるパイプ(直管)に対して、継手や分岐などに使うさまざまな形状のパイプのことで、当社は主に水道用のダクタイル鑄鉄製の異形管を製造・販売しており、生産量は国内トップクラスです。また開発・設計から鑄造、機械加工、仕上塗装まで自社で一貫生産しているのが特長です。



ハズ取締役総務担当
犬塚 進さん

■Instagramでも情報発信
現在、学生の採用に当たっては特に生産技術課という部署への人材を求めています。生産技術課では設備を導入・保全するだけでなく、自分たちで設計して制作するなど、製造工程を効率化するための重要な役割を担っています。また企業理念に「先進技術」が入っており、オフコンの時代から事務作業の軽減化を図ってきました。最近では既存の基幹システムを刷新するプロジェクトを推進する中でIT人材を育成したり、愛知県立大学と産学連携し、遺伝的アルゴリズムを取り入れた生産管理の最適化に取り組んだりしています。これから入社される方と一緒に全社的なDXを築いていきたいですね。

ただ、技術系の社員の採用は難しい状況です。やはり愛知県ではトヨタ関連の企業に人材を多く取られますから。それだけに今年は大学の範囲を広げつつ、工業高校(愛知県では工科高校)にも視野を広げ、採用活動に回っています。同時にInstagramを昨年から開始し認知度を上げるべく情報発信しています。ホームページも更新し、「先輩社員の声」を見て問い合わせがあり、採用に結び付いたこともあります。

DXで水道の永続に向け

■副配属で他部署を理解

高卒の方には半年間OJT(実務研修)があり、大卒の新入社員は3カ月間現場研修を受けます。同時に、違う部署の先輩がサポートするメンター制度もあります。社内の体制としては、創業精神でもある「人間性の尊重」の一環として、働き方改革の取組みも早く、フレックスタイム制度の導入はもとより、フルフレックスも試験的に実施しています。

社員教育は毎年4～6月の間、職位によってさまざまな講座を受けます。QCサークル活動、安全教育といった基礎的な講座から水道管種(GX形管)の知識まで多種多様です。さらに将来の幹部候補となる若手中堅社員には、本所部署に加え他部署に副配属されるネクスジェン・リーダーズ・イニシアチブを昨年8月から行っています。営業や製造現場など、それぞれ違う部署に月に1～2回程度実務を経験してもらうのです。これにより他部署の業務内容が身をもって理解でき、円滑な仕事につながるだけでなく、業務改善にも生かせると期待しています。

■健全な水道永続に向けた使命と責任

当社の本社所在地は愛知県下ですのでトヨタ生産方式やトヨタ式カイゼン(改善)の影響を受けています。ただ、在庫などの無駄をなくすというトヨタ生産方式と違うのは、いざという時にライフラインの迅速な復旧のための資材の在庫がなければならぬという点です。そのため能登半島地震の際は、災害発生当日から動き出し、翌日には出荷対応を開始しました。熊本地震、東日本大震災の時は当社の九州、東北工場が被災しながらも出荷拠点として水道インフラの早期復旧に貢献しました。

能登半島地震や八潮市の下水道管事故をはじめ、上下水道の耐震化・老朽化が注目されています。100年企業のハズでともに水道インフラを守っていきたいという人はぜひ当社にいらしてください。



人事／採用担当者に聞く

ハズ 当社のここを知ってほしい

■インフラに携わる
大学卒業後は日本水道設計に入社し、今年で5年目を迎えます。大学では土木工学を専攻していたこともあり、就職活動ではインフラに携わる仕事、特に設計に関わりたという思いで建設コンサルタントや都市計画などインフラ関係の企業を中心に選考を進めました。当社のインターンシップには参加できなかったのですが、参加したほかの学生からは「上司に相談しやすい」「社内の雰囲気が良い」と聞いており、就職活動では第一希望の会社でした。入社してから当初抱いていたイメージとのギャップもなく、働きやすい職場環境を集めるため、社内には内部の撮影を委託し、今年初めて技術士第



二次試験を受ける予定で、通称業務と並行しながら資格に向けて勉強を進めています。試験問題の解答を先輩社員に添削してもらえたり、社内でのフォローアップ体制も充実しています。

■複数現場を並行して所属する設計一課では、水道施設の実設計を担当しています。関東近辺を担当することが多く、平均して週に1、2回は現場に向かいます。一回は現場が終わるまでの学生からは「上司に相談しやすい」「社内の雰囲気が良い」と聞いており、就職活動では第一希望の会社でした。入社してから当初抱いていたイメージとのギャップもなく、働きやすい職場環境を集めるため、社内には内部の撮影を委託し、今年初めて技術士第

永島 祐行さん

日本水工設計
東京支社 水道部 設計二課



感動とともに責任の重さ実感

■より良い設計を目指す
発注者である自治体の方の打ち合わせでは、「要望をよく聞く」と「複数の案を提案する」を心掛けています。コミュニケーションを重ね、より良い設計を目指します。お客さまから日本水工設計さんは親身になってくれるね」と言われた時はうれし

若手・中堅社員が語る

社会を支える先端業務に携わる

■地域のインフラを支える仕事に惹かれ
就職活動は当初、私の専攻である化学に

■大勢の人々と連携することが自身の成長にも
入社当初は、当社の主力である化学事業

■風通しがよい社風に助けられ
また、当社の事業を紹介するパンフレットの作成に

■風通しがよい社風に助けられ
また、当社の事業を紹介するパンフレットの作成に

■大勢の人々と連携することが自身の成長にも
入社当初は、当社の主力である化学事業

■風通しがよい社風に助けられ
また、当社の事業を紹介するパンフレットの作成に

明電舎
水インフラ技術本部
PPP事業推進部 技術推進課

吉田 真優さん



■大勢の人々と連携することが自身の成長にも
入社当初は、当社の主力である化学事業

チャレンジの中に、
チェンジがある。

CHALLENGE

Challenge to change.

公明党 / 連続ドラマ小説
くりもとさん
くりもとさん 検索

<https://www.kurimoto.co.jp/>

求む「技術の継承者」

日本で初めてのPC配水池(昭和32年築造)

ただ一筋に愚直に改良を重ねてきた技術。
あまりにもあたりまえの存在だから、
つい見過ごされてしまいます。
でも私たちの技術は確実に根付いています。
Prestressed Concreteの技術に携わる
これからの仲間との出会いを楽しみにしています。

株式会社 安部日鋼工業